

# ようぼくの心と心をつなぐ News Letter

立教176年(H25)  
8月23日発行

## 教務報

立教 176 年 9 月

- 1 日 おぢば伏せ込み団参(午前中)  
鼓笛隊慰労会
- 1 日 1~30日  
にをいかけ強調の月
- 1 日 1~8日  
青年会全分会布教推進週間
- 4 日 岡心勇隊佐賀地区  
大教会秋季霊祭
- 5 日 岡心勇隊五條橋本(あやの台)
- 9 日 岡心勇隊八幡地区  
婦人会委員会
- 13 日 岡隊・飛鳥川隊おとまり会
- 14 日 大教会伏せ込みひのきしん(道弘)
- 15 日 福門分教会附属建物竣工
- 18 日 岡心勇隊大阪地区  
大教会伏せ込みひのきしん(相嘉)
- 21 日 祭典準備ひのきしん
- 22 日 事務局会議 役員会議
- 22 日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23 日 大教会月次祭 家族参拝デー
- 23 日 23日  
ようぼく成人講座第2回講師研修会
- 24 日 26日  
婦人会話所ひのきしん
- 25 日 大教会長夫妻教理研鑽(みかぐらうた)
- 25 日 各教会・各委員会  
大教会伏せ込みひのきしん(東松浦)
- 25 日 25日  
おぢば伏せ込み団参(早朝)
- 25 日 25日  
詰所運営委員会
- 25 日 25日  
「教祖を身近に」勉強会

- 26 日 本部月次祭 祭典後お礼づとめ
- 27 日 29日 修養科修了者研修
- 28 日 29日 教会長路傍講演の日
- 28 日 30日 全教一斉にをいかけデー
- 28 日 29日 第11回生活復興ひのきしん隊
- 29 日 岡心勇隊福岡地区
- 30 日 岡心勇隊姪浜会場
- ◆本部辞令
- ◆少年会隊長変更(6月26日付)
- ◆教養掛(9月)
- 伊萬里 森川 清和
- ◆第29回教人資格講習会後期修了者(8月6日~10日)
- 西北 永吉 美砂子
- ◆修養科第865期修了者(7月27日)
- 飛鳥川 吉岡 淳子
- 鶴城 小南 拓也
- ◆別席願(7月16日~8月15日詰所受付分)
- 北松浦 久保 元喜
- 東松浦 吉田 知香
- 住之都 山科 理美
- 西新 秋山 瑞希
- 大空 西本 真衣
- ◆おさづけの理拝戴願(7月16日~8月15日詰所受付分)
- 鶴城 小南 拓也
- ◆教人登録(6月18日付)
- 岡村 奥村 もとよ



私は、今年五月からの三ヶ月間おぢばで修養科生活を送らせていただきました。元々、未信者の私は中学校時代の友達に、大学生一年生の頃から学生会などの行事に誘われ参加するようになり、天理教と出会いました。

最初はお道の教理など何も知らず、ただただ周りの友達に合わせておつとめやお手振りを真似してました。そんな時、天理教を信仰される方々の人柄の良さに触れて、「何故、こんなに明るく優しいのだろうか」と疑問を持つようになりました。そこで私は天理教の事を少しでも知りたいと思う好奇心から、福岡の教務支庁で天理教基礎講座を受け、そこで「修養科」の存在を知りました。

### 感謝の心で「何か一つ人のために」

第865期修了 鶴城分教会所属 小南 拓也 20歳

基礎講座を受けてから約一年経ち、私は通っていた大学を、歌手という夢を追いかけられるべく中途退学する事になりました。そこで、以前聞いた修養科の存在を思い出し、修行の意味を込め修養科に行くことを決意しました。

最初は、歌手活動をするにあたり、様々な経験をされた人の話を聞いておいたほうが良いだろう、それぐらいの気持ちでした。しかし、いざ修養科生活が始まると、「何も悩み事など無いと思っていた自分の心遣いは、こういう事ではないのだろうか」と考えるようになっていきました。また、お手振りを覚えて周りの人と一緒に踊れる楽しさ、本部神殿に参拝しておつとめをすることで心が澄み切るような感じなど、いまままでにない感覚を覚えるようになっていきました。

「一ヶ月目は自分の成長の為に」と思っていた自分が、終わる頃には岡の合言葉でもある「何か一人のために」へと、そう思えるようになっていきました。

地元福岡に帰った今、再び私は歌手活動を始めて日々生活しています。そこで、修養科で感じた「感謝の心」「何か一人のために」という気持ちを大切に、これからの人生を送っていきます。

天理教に出会えた喜び、大切なものを教えてくれた友達、修養科に行くにあたって後押ししてくれた家族、そして会長様。全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

## おぢば伏せ込み団参

今回は10月3日  
10時集合 ひのきしん  
12時定時のおつとめ参拝です  
皆さまの参加をお待ちしています

### 訃報



鶴城分教会  
4代会長夫人  
大野 信子氏(76歳)  
6月18日お出直し

葬儀は、森川祐三・西北分教会長齋主のもと、6月19日みたままつし、20日告別式が、鶴城分教会で執り行われた。  
長年、4代会長夫人として道の御用に歩まれた氏の御功績を称え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。